

老舗今昔

北九州には大正時代はおろか、それ以前に始まった企業や、何代も続く商店がたくさんあります。

そうした「老舗」の古い暖簾に編みこまれた秘話など、知られざる歴史を紹介します。

ホームインテリアワソー(株)

住所：八幡西区下上津役1-3-21

業種：インテリア用品販売など

TEL：611-4621 FAX：611-5721

創業：1981(昭和56)年

URL：<https://www.wasojp.com/>

技術力と感謝の念で地元へ恩返し



1989(平成元)年にオープンしたインテリアショップ

インテリア商品の販売やリフォームを主事業とするホームインテリアワソー(株)は今年 43 周年を迎えた。創業以来の変わらぬ理念は地域密着。代表取締役の米倉進さん(66)は「お客様と取引業者の皆様にご助けをいただきました。これからも恩返しの気持ちを持ち続けます」と地域への感謝を口にします。

同社の始まりは、襖製作やクロス張り替えを行う 1981(昭和 56)年創業の「インテリア和装」。インテリア業界で働く両親の背中を見て、中学生の頃に「自分の店を持ちたい」と決心。大学で経営学を学び、卒業後は福岡県古賀市の職人の下で 1 年間修行し開業に至った。

1989(平成元)年 3 月にはカーテンや敷物、カーペットなどのインテリア商品を販売するショップを三ヶ森商店街にオープン。同年 4 月に現在の社名に変更、小学校や大学寮の改修なども数多く手がけてきた。

米倉さんは今年 10 月、地元の中尾市民センターに 65 インチテレビと壁掛け柱を寄贈し、

八幡西区長から感謝状を贈呈された。寄贈のきっかけは、地震や豪雨被災時の避難所にテレビがない光景を目にしたことだった。災害時の情報入手手段としてテレビの果たす役割は大きい。しかも自然災害は近年、多発している。そこで「日頃の恩返しに」と、自社の技術を使った壁掛け柱とテレビの寄贈を決めたという。

壁掛け柱は学生寮の食堂やマンションの洋間などにも使われている。重い重量に耐える躯体で 2016 年実用新案登録を受けた。地域密着に加え、技術力の高さも同社の強みだ。リフォームでは米倉さんがライフスタイルに合った提案を行っており、個人客の内装工事実績はこれまで約 5000 件にも上る。

「社会や時代は刻々と変化していますが、社員一同で知恵を絞っていききたいと思います」と米倉さん。技術力と感謝の念を胸に、50 周年に向けて地域との共存共栄の道を歩んでいく。



寄贈したテレビと米倉さん(右から2人目)